

国語 解答例

問一 ①しんぎ

②圧倒

③ぎんみ

④かたよ（り）

⑤提唱

⑥影響

⑦不滅

⑧快適

⑨最善

⑩かいぎ

⑪すみ（やか）

⑫余裕

⑬ちゆ

⑭りんしょう

問二 Aつまり、 Bそもそも、

Cそして、

Dなるほど、

Eだが、

問三 (a)

○

(b)

○

(c)

×

(d)

×

(e)

○

問四

現代は情報量が爆発的に増大しているため。また、受け入れる情報そのものを制限する「デジタル・ダイエット」も容易ではない。さらに、私たちは、快適に過ごす日常空間で心地よい情報を受け取ることが多いため。(98字)

・「情報量の増大」、「情報制限の困難」、「心地よい情報の享受」の三点が記述されていること。

問五

あいまい情報の中で事態に耐える人間力こそが、AI時代に求められるリテラシーであり、そのために必要なクリティカルシンキングは、あいまい情報をやり過ぎ、不用意に発信しない思考、つまり「あいまいさに耐える力」であることから。(110字)

・「あいまい情報の中で事態に耐える人間力」、「あいまい情報をやり過ぎ、不用意に発信しない思考」といった表現が入っていることを正答の条件とする。

問六

SNS上でフェイクニュースや扇動的な主張が氾濫し、人々が異なる意見をもつ者に対し不寛容で、ときには差別的な風潮が広がりつつある現代ほど、メディアリテラシーの重要性が求められている時代はないと思われる。情報の信ぴょう性について「批判的」に捉えること、じっくりと「吟味」することは言うまでもないが、それでも判断の難しいあいまい情報に直面したばあい、不用意な発信はせずに、注意深く見守ることが大切だと考える。(201字)

- ・「メディアリテラシー」、「あいまい情報」の二つの語句が用いられていること。
- ・表記、字数（適切であるか）
- ・内容（文章で表現されている内容についてよく理解し、自分の問題として考えているかどうか）